



未来への一步

~Let's create the future together~

第087号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1
TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>
FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

発行日：R6.10.30

生活体験発表会

10月4日(金)に、体育館で播磨特別支援学校の伝統的な行事の一つ、生活体験発表会が行われました。夏休みに全校生徒が宿題で書いた作文を、クラスの前で読み、次にクラス代表の生徒が学年の前で読み、学年で選ばれた9名がこの日を迎えました。

代表になった9名は、「学校生活を振り返って」「おばあちゃんの介護」「学校・寄宿舎生活をふりかえって」「今飼っているペットについて」「僕がわくわくしていること」「人との関わり方を大切に」「これからの未来」「学校生活最後の夏休み」「卓球選手として」など、それぞれの思いを全校生徒の前で発表しました。今回は代表に選ばれず聞けなかった作文もありましたが、夏休みの楽しい思い出や、中学生と高校生の違いや友だちとグライダーを作ったことなど、いろいろな題材で全校生徒が頑張りました。

普段は見えない仲間の様子を知ることができ、経験を共有する良い機会になりました。



見てみよう！播磨特別支援学校の取組

9月18日(水)に、第1回「見てみよう！播磨特別支援の取組」を実施しました。本校では年間3回、事業所の方々をお招きして、普段の特別支援学校の様子や生徒の活動を直接ご覧いただき、障害のある人も共に活躍できる社会の形成に向けて、お力を貸していただけるよう、本取組を行っています。製作実習や職業実習、パソコンを使った授業を中心に見学していただきました。授業の内容説明を生徒が担当したり、事業所の方からの質問に生徒が直接答えたりしました。実際に生徒の様子をご覧になられて「しっかりと受け答えができるんですね」や「あいさつがしっかりできていますね」など嬉しいお言葉を頂戴しました。本取組によって実習につながることもあります。

本校では「分離礼」を重んじています。「分離礼」とは、先にあいさつの言葉を述べてから、お辞儀をするというあいさつの作法です。この行事を通して、本校の良さを多くの方々を知っていただけますと幸いです。

人権教育講演会 第3回販売実習

9月19日(木)に、車いす卓球パラアスリート北川雄一朗氏(相生市在住)をお招きし、人権教育講演会を実施しました。「チャレンジを積極的に受け入れる 新たな可能性の第一歩」と題しての講演は生徒たちに、身近で勇気の出るとも共感の得られる内容でした。卓球への取組みや北川さんの生き方に触れ、講演終了後には「車いすで卓球ができるまでどのような練習や努力をしてきましたか」「自身の新たな可能性を見つけるにはどうしたらいいですか」「自分の成長や努力を感じた時はどんな時ですか」など、生徒自身が感じたことを素直に質問していました。

卓球交流では、生徒から多くの希望の申し出があり、経験者も未経験者も楽しくプレーをして大いに盛り上がりました。

<生徒の感想>

- ・希望を忘れず、苦手なことにも挑戦し続けることが大切だとわかりました。
- ・チャレンジ精神や夢をあきらめない心がひしひしと伝わってきました。
- ・「負けている時の方が力を抜いてプレーできる」という言葉が印象的でした。この考えで、そんな時こそ最大限の力を発揮できるようになりたいです。
- ・競技用の車いすを見たことがなかったので、この機会に見られて良かったです。

9月25日(水)に、就業技術科2学年の抽出メンバーが、本校自立活動室にて第3回販売実習を実施しました。「生産(木工)・工芸(陶工)・園芸・環境(皮革)」の4つのコースが、授業で製作した商品を、地域の方々や保護者の方々にお買い上げいただきました。多くの生徒が前回の販売実習とは違う役割を担当しました。緊張しながらも落ち着いてレジや包装、商品説明などの役割を果たすことができました。また、準備から片付けまで販売担当以外の生徒が役割を分担し、生徒同士の協力する姿がたくさん見られました。生徒たちの成長が感じられる販売実習になりました。たくさんのご来店ありがとうございました。



職場見学～第1学年普通科・総ビ科～

10月8日(火)に、普通科と総合ビジネス科1年生が職場見学に行きました。姫路市役所のオフィスサポートルームという部署では、各課から封入作業やパソコン入力など様々な事務作業を受注していて、中には数千単位の仕事量があり、集中力が必要だと学びました。卒業生が勤務しており、生徒からの質問に答えてくれました。その中で、「仕事でミスをした時はすぐに報告する。報・連・相が大事」と教わり、生徒の心に残ったようでした。就労移行支援事業所ハンズ姫路では、SSTやグループワークなど事業所で取り組んでいる日課について説明していただき、就労するためにはコミュニケーション能力が必要であることを学びました。生徒たちは熱心にメモを取りながら説明を聞くことができました。見学先へは電車やバスを利用したため、日頃公共交通機関を利用する機会が少ない生徒にとっては、マナーを学ぶ良い機会にもなりました。

就労に対する意識が高まり、今後の学校生活に活かそうという生徒の前向きな姿が見られました。



「らくスポ」に参加

10月5日(土)、たつの市役所周辺にて、たつの市版ユニバーサルニュースポーツイベント、通称「らくすぽ」が開催されました。本校からは3名の生徒が運営スタッフとして参加しました。

今年度は、たつの市の「いねいぶる」の方々と一緒に、『かんぱい in The dark』というブースを担当しました。「見えない世界では物や場所をどうやって知ったらいいの？」をテーマに、来場者にはアイマスクをつけていただき、みんなで楽しくコップに注がれた水で乾杯をしてもらいました。目が見えない人に物の位置などを伝えるには、「〇時の方向に〇〇があるよ」とクロック・ポジションで伝えることが有効であることを知ることができました。生徒は、「また来年も参加したいです！」と笑顔で答え、一日を終えることができました。

お知らせ

○第4回販売実習は、
11月19日(火) 20日(水)
場所：姫路リバーシティ1階
タワーガーデン
時間：10時～13時30分

○第3回 Café はりまは、
11月27日(水)
場所：マックスバリュ龍野店
時間：10時～13時30分